

2026年2月12日

在胎34週未満で出生した児をもつ母親における
産後1ヶ月までの搾乳量の経時的変化と抑うつ傾向との関連

◆研究の目的と概要◆

当院では、早産児をもつお母さまの育児負担や心理状態、搾乳の状況について調べています。本研究では、NICUに入院した在胎34週未満のお子さまのお母さまを対象に、産後のさまざまな状況のひとつとしての搾乳量と、産後の気持ち（エジンバラ産後うつ病質問票）との関連を検討することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2023年4月から2025年9月の間に当院で出産された方のうち、入院中と1か月健診時の計2回、エジンバラ産後うつ病質問票に回答が得られた方が対象です。

◆研究に使用される情報・試料◆

お母さまの年齢、分娩様式、分娩時出血量、搾乳量、搾乳回数、エジンバラ産後うつ病質問票、お子さまの在胎週数、出生体重、胎児数、疾患、NICUの入院期間を使用させていただきます。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

産婦人科 研究責任者 中正 成美

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明